

＜平成 29 年度調査＞

第 1 部：日本におけるユネスコエコパークの活動状況調査（案）

—定期報告に向けた予備調査—

1. 貴ユネスコエコパークにおける、生物圏保存地域としての目標を記載ください。＜定期報告書1-g＞
※核心・緩衝地域の長期的な保全目標や、移行地域を含め、地域が目指す環境・発展の方向性など

2. 国際調整理事会（MAB-ICC）によって、以前に勧告等が行われている場合、その内容を記載ください。＜定期報告書1-e＞

3. 上述に関連して、どのようなフォローアップ活動が完了しているのか、完了・着手していない場合、その理由を記載ください。＜定期報告書1-f＞

【完了済の活動】

※活動の期間、活動の主体や協力者、活動の継続性やその後の発展性などが分かるように記載ください。

【完了・着手していない活動】

※理由とともに、今後の予定について、活動予定期間も含めて分かるように記載ください。

4. 登録の際に貴ユネスコエコパークとして申し出ていた、ユネスコエコパークとして示せる「モデル」づくり（※）のために行うとしていた施策について、実施状況を記載ください。＜定期報告書1-g＞

※より広域的な地域のレベルで持続可能な発展を実現するための探求の場／モデルづくり

5. ユネスコエコパークとしての貢献度について記載ください。＜定期報告書1-l＞

※目標を達成する上での生物圏保存地域としての活動貢献。国際的な協力も含む。

＜平成 29 年度調査＞

第 2 部：各ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）における
MAB戦略・リマ行動計画に関する取組状況調査票
—中間報告（2018 年春に報告予定）に向けた予備調査—

（はじめに）

- ◆ この調査票（第 2 部）は現在の各 BR の状況について調査するものです。そのため、調査票のすべての項目について必ず回答する必要はありません。現在の BR の取組とあてはまる項目に、現在の状況などを具体的に記入ください。
- ◆ また、今回の調査項目は、リマ行動計画に基づいております。一部、各 BR からの回答が不要だと思われる項目は除外しております。
- ◆ 本調査の結果を参考に、来年春の MAB 国際調整理事会に提出する、我が国におけるリマ行動計画への対応状況に関する中間報告書を作成する予定です。
- ◆ MAB 戦略 2015-2025 の末尾に用語解説があります。

戦略的行動分野 A：持続可能な開発のための有効に機能するモデルからなる WNBR

戦略的行動分野 A 1.

生物圏保存地域が持続可能な開発目標（SDGs）と多国間協定（生物多様性条約—MEA）の実施に寄与するモデルとして認識される

A1-1 2015年に示されたSDGsの達成に寄与できる活動について記載ください。また、その活動をステークホルダー内で情報共有するとともに、各活動がどのゴールに貢献するのか一般の方々にもわかりやすいように整理することを意識していますか。

※関連するSDGsの番号別に記載すること

＜リマ行動計画A.1.1＞

A1-2 2015年に示された生物多様性条約に関する愛知目標の達成に寄与できる活動について記載ください。また、その活動をステークホルダー内で情報共有するとともに、各活動がどの愛知目標に貢献するのか一般の方々にもわかりやすいように整理することを意識していますか。

※関連する愛知目標の番号別に記載すること

＜リマ行動計画A.1.2＞

A1-3 生物多様性保全と地元住民の利益のための地域連携や国際連携活動について記載ください。その活動は、どの程度の規模の地元住民が一緒に取り組んでいるものかも記載ください。

※連携先の団体等の名前も記載ください。

＜リマ行動計画A.1.3＞

＜平成 29 年度調査＞

A1-4 気候変動にかかる研究、モニタリング、緩和、適応のための政策や関連する取組（プロジェクト等含む）があれば記載ください。

＜リマ行動計画A.1.4＞

A1-5 グリーン経済、持続可能な経済、社会経済に関するイニシアティブを推進する政策や関連する取組（プロジェクト等含む）があれば記載ください。連携先の企業についても記載ください。

※ユネスコエコパークの目的を反映する生産物とサービスに対するラベル化の考案があれば記載。

＜リマ行動計画A.1.5＞

A1-6 社会生態システム（生態系と社会経済の相互関係に注目したシステム）の研究に着手していますか。長期的な保全についてはどのように対応していますか。（劣化した生態系の回復と管理など）

＜リマ行動計画A.1.6＞

戦略的行動分野 A 2.

生物圏保存地域のオープンかつ参加型の選定、計画及び実施が行われる

A2-3、A2-4

- ① ユネスコエコパークにおける活動について、管理計画の策定はされていますか。また、モニタリング、定期的レビューのプロセスについて計画が定められていますか。
- ② 地域に根ざす慣習、伝統、文化との関係は考慮されていますか。それは管理計画でわかるようになっていきますか。
- ③ 管理計画策定の過程で、地域住民が自由に参加できる仕組みはありますか。管理者と利害関係者、ユネスコエコパークに携わるステークホルダーとの間のコミュニケーション計画或いはメカニズムを有していますか。
- ④ 核心地域（国立公園や国有林）を管理している行政機関（地方環境事務所、地方森林管理局、自然保護官）などと、管理計画の策定及び日常の活動の中で連携していますか。

※連携している場合は、連携している機関名や取組などについて記載ください。

＜リマ行動計画A.2.3、A.2.4＞

戦略的行動分野 A 3.

補完的に、生物圏保存地域を機能させる支援が行われつつ、生物圏保存地域が関連制定法、政策もしくはプログラムへ盛り込まれる

A3-1 地方自治体において、ユネスコエコパークが認識或いは言及されている条令、政策、プログラムがありますか。ある場合には、その名称と内容を記載ください。

＜リマ行動計画A.3.1＞

＜平成 29 年度調査＞

A3-2 ユネスコパークの効果的なガバナンスと管理体制について、年間予算とユネスコエコパークの管理運営に要している人員数を記載ください。

＜リマ行動計画A.3.2＞

戦略的行動分野 A 4.

生物圏保存地域の管理と同地域における持続可能な発展を支援する研究、実践的学習、研修の機会

A4-1 ユネスコエコパークに関して研究を引き受ける大学／研究機関（ユネスコチェア・センターを含む）との協力内容について記載ください。

＜リマ行動計画A.4.1＞

大学・研究機関名	協力内容（プロジェクト名とプロジェクト概要） ※研修、シンポジウムなどを実施した場合も記載すること	協力期間（〇〇年～〇〇年）

A4-2 SDGsを考慮して、ユネスコエコパークの利害関係者（管理者、権利保有者を含む）を対象とした研修や能力向上活動を行う協力機関と連携していますか。それらの機関との連携内容について記載ください。

＜リマ行動計画A.4.2＞

機関名	連携内容 ※研修、能力向上に関するイベントなどを実施した場合も記載すること	連携期間（〇〇年～〇〇年）

A4-3 ユネスコエコパークの管理を特徴づけ、管理向上に資する研究成果について記載ください。

- ① 学術雑誌等（紀要・論文集等を含む）に発表した論文または著書（「査読の有無」を区分して記載し、著者、題名、掲載誌名、巻号、開始ページと最終頁、発行年（西暦）を記載）
- ② 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説など
- ③ 国際会議、国内学会、シンポジウム等における発表
- ④ 現在実施中の研究

＜リマ行動計画A.4.3＞

A4-4 持続可能な開発のための好事例について研究を通じて特定していますか。或いは持続不可能

＜平成 29 年度調査＞

な事例については特定されていますか。特定している事例について記載ください。

＜リマ行動計画A.4.4＞

A4-5 A4-1～A4-4まで記載された、ユネスコエコパークの管理と持続可能な開発に資するプロジェクトや研究の成果を反映して、管理計画が更新された、あるいは新たな開発活動につながった例について記載ください。

＜リマ行動計画A.4.5＞

戦略的行動分野 A 5.

生物圏保存地域の財務上の持続可能性

A5-1 ユネスコエコパークに関する事業計画（収入、潜在的な資金提供者との効果的なパートナーシップを含む）を策定していますか。策定している場合、提出ください。

＜リマ行動計画A.5.1＞

A5-2 ユネスコエコパークに関する事業（収入を生み出す活動）の実施状況について記載ください（概算で結構ですので、収入金額もわかれば記入ください）。

＜リマ行動計画A.5.2＞

A5-3 ユネスコエコパークの活動に関して、国、地方自治体、民間からの助成を受けて行っている事業があれば記載ください。

＜リマ行動計画A.5.3＞

事業名 (助成事業名、助成機関名)	事業内容	助成額 (総額)	助成期間

戦略的行動分野 A 6.

生物圏保存地域世界ネットワーク (WNBR) が効果的に機能しており、すべてのユネスコエコパークが法的枠組みを順守している

A6-1

① 法定枠組み (WNBRの定款) にある定期的レビューの提出期限に向けて、プロセスを定めていますか。

＜平成 29 年度調査＞

- ② 法定枠組み（WNBRの定款）に従って、定期的レビューを期限通り提出していますか。（提出対象となったBRのみ回答ください）

＜リマ行動計画A.6.1＞

A6-2 順応的管理※を導入していますか。また、その状況について定期的レビューに記載していますか。

＜リマ行動計画A.6.2＞

※「順応的管理」

不確実性を伴う対象を取り扱うための考え方・システムで、特に野生生物や生態系の保護管理に用いられる。例えば、野生生物保護管理の対象は、(1)基本的な情報が得られない不確実な系であり、(2)絶えず変動し得る非定常系であり、(3)境界がはっきりしない解放系である。そのため、当初の予測がはずれる事態が起こりうることを、あらかじめ管理システムに組み込み、常にモニタリングを行いながらその結果に併せて対応を変えるフィードバック管理（順応性）が必須となる。また、施策は多くの場合リスクを伴うので、その説明責任を果たす義務も必要となる。順応性と説明責任を備えた管理を順応的管理と言うが、その実施に当たっては合意形成の努力も必要となる。【一般財団法人環境イノベーション情報機構HP環境用語集より】

戦略的行動分野 A 7.

生物圏保存地域が、生態系サービスの源泉であり、管理役であると認められる

A7-1 ユネスコエコパークからの生態系サービスの供給を明確に意識していますか。計画や方針等で長期的な生態系サービスの提供について定めていますか。生態系サービスの長期的供給の促進について定期的レビューに記載していますか。

＜リマ行動計画A.7.1＞

A7-2 生態系サービスへの支払い（PES）のスキームを実施していますか。どのような仕組みが記載ください。

＜リマ行動計画A.7.2＞

※「生態系サービス」とPES：【環境省ホームページより】

普段の生活の中で気づかないうちに、自然から非常に多くの恵みを受けています。例えば、お米はそれ自体が食料という自然の恵みですが、お米を作る田んぼも、大雨時の洪水を防ぐ水がめとしての役割や、気温を下げる機能、あるいはメダカやタガメなど様々な生きものに生息の場を提供し、さらには田んぼのある景色が私たちの目を楽しませてくれます。このような自然の恵みを指させてくれる自然の働きのことを「生態系サービス」といいます。

（ミレニアム生態系評価では「生態系サービス」を次のように分類）

- ① 自然は、私たちに食べ物や水、木材、繊維、燃料、薬品、工芸品の材料などの恵みを与えてくれる（供給サービス）
- ② 自然は、私たちの生活の外側で水を蓄えて浄化したり、温度を下げたり、洪水を防いだり、廃棄物を分解したりしてくれます（調整サービス）
- ③ 私たちは自然の中に入ってレクリエーションを楽しむことができます。また、自然は私たちの目を楽しませてくれたり、信仰の対象、教育の場になったりすることもあります（文化的サービス）
- ④ ①～③のサービスを支えるために、光合成によって酸素をつくったり、水を巡回させたりしてくれます。また、森で降った雨を葉や土壌に一度蓄えてから、鉄分などのミネラルをたっぷり含んだ水にして川から海に流す、栄養塩を循環させる働きも持っています（基盤サービス）

PESの例としては、ガソリン税等を森林保全の財源とする制度や、良質の水を必要とする企業がその水源の保全に協力する畜産農家に対し費用を支払う仕組みなどがある。

A7-3 生態系サービスの供給を支える取組を実施し、種及び、様々な経済・文化的価値を保全、維持、促進することを意識していますか。これら为目标とした取組があれば記載ください。

<平成 29 年度調査>

<リマ行動計画A.7.3>

**戦略的行動分野 B : MAB計画と生物圏保存地域世界ネットワーク (WNBR) 内の
包含的で、活発かつ、結果指向の協同とネットワーキング**

※ 戦略的行動分野Bのうち、B1～5については、JBRNとして、回答ください。B6～7については、各ユネスコエコパークとして、回答ください

戦略的行動分野 B 1.**有能な生物圏保存地域の管理者／調整者及び同地域の利害関係者**

B1-1、B-1-2 JBRNにおいて、ユネスコエコパークの管理等に関わる関係者を対象にグローバル教育、地域教育、能力向上、研修プログラム（大学のコース等を含む）を行っていますか。または、ユネスコエコパークに関する活動を実施する上で必要な知識を提供する既存のプログラム（例：大学や関係公益法人が実施する講座や研修）への参加を推奨していますか。それらのプログラムのうち、確立されたものがあれば、その内容（参加者数を含む）を記載ください。

<リマ行動計画B.1.1、B.1.2>

戦略的行動分野 B 2.**包含的、地域別・テーマ別ネットワーク**

B2-1 JBRNにおいて、すべての関連利害関係者の幅広い参加の確保ができていますか。毎回の参加者の数、その多様性について記載ください。

<リマ行動計画B.2.1>

戦略的行動分野 B 3.**十分な資源を有する地域別・テーマ別ネットワーク**

B3-1 JBRNにおいて、ネットワーク事業計画が策定されていますか。策定されている場合には提出ください。

<リマ行動計画B.3.1>

戦略的行動分野 B 4.**効果的な地域・テーマレベルでの協同**

＜平成 29 年度調査＞

B4-1 JBRNにおいて、協同プロジェクトなどの計画、実施はありますか。そのためのワーキンググループなどがありますか。その内容（プロジェクト名、WG名を含む）について記載ください。

＜リマ行動計画B.4.1＞

戦略的行動分野B 5.

地域別・テーマ別ネットワークとその活動のビジビリティ

B5-1 JBRNにおいて、報告書が作成され、ネットワーク内での好事例を含む活動内容を、広く内外に普及させていますか。（WEB, SNS情報などの生成を含む）ネットワーク同士のコミュニケーション活動の頻度についても記載ください。

＜リマ行動計画B.5.1＞

戦略的行動分野B 6.

国と国境を越えたユネスコエコパーク間の協同

B6-1 他国のユネスコエコパークとの連携を行っていますか。連携協定を策定していますか。ある場合には、その内容について記載ください。

＜リマ行動計画B.6.1＞

戦略的行動分野B 7.

MABのビジョンと使命を共有している科学者／有識者の活発でオープンな学際ネットワーク

B7-1 国内及び他国の科学者／有識者（ネットワーク）との連携はありますか。ある場合には、その連携先（名前）について記載ください。連携先が学会グループやネットワークの場合には、そのグループの規模（メンバー数）とその特性についても記載ください。

＜リマ行動計画B.7.1＞

B7-2 上記B7-1で連携がある場合、その連携により着手した活動について記載ください。また、中長期的な課題を連携して特定していますか。その場合には、簡潔にその内容を記載ください。

＜リマ行動計画B.7.2＞

＜平成 29 年度調査＞

戦略的行動分野 C : MAB計画と生物圏保存地域世界ネットワーク (WNBR) のための効果的な外部との協力と十分かつ持続可能な資金提供**戦略的行動分野 C 2.****ユネスコ内及び他の国際機関や関連条約で、MABプログラムが重要なパートナーとして認識される**

C2-1 ユネスコの事業関係者との協働の実績がありますか（他の国のユネスコエコパーク、MAB事業以外の関係者（例：ユネスコ世界ジオパーク、IHP（国際水文学計画）関係者、IOC（政府間海洋学委員会）、ユネスコ協会、ユネスコスクール関係者等との協働などを含む）。ある場合、その内容（協働した関係者を含む）を記載ください。

＜リマ行動計画C.2.1＞

C2-2 ユネスコ以外の国際プログラムや関連条約との協働やパートナーシップの実績がありますか。ある場合、その内容（協働した関係者を含む）を記載ください。

＜リマ行動計画C.2.2＞

戦略的行動分野 C 3.**ユネスコエコパークと地域別ネットワークから自己収入が生み出される**

C3-1 収入を生み出すための能力向上を支援するか取組みに参加したことがありますか。もしくは、ユネスコエコパーク関係者、自治体、企業等で連携して開催したことがありますか。ある場合、その内容（協働した関係者を含む）を記載ください。

＜リマ行動計画C.3.1＞

C3-2 MAB計画と目的が一致した外部事業体から資金を調達するための連携関係を結んでいますか。ある場合、その連携先と資金調達の概要を記載ください。

＜リマ行動計画C.3.2＞

戦略的行動分野 C 4.**民間セクターによって、MAB計画が重要なパートナーとしての認識される**

C4-2 民間セクターとの連携した取組を行っていますか。ある場合には、その内容を記載ください。

＜リマ行動計画C.4.2＞

＜平成 29 年度調査＞

戦略的行動分野 C 6.**企業家と社会的企業がBR活動（生物圏保存地域としてのユネスコエコパークの活動）に寄与する**

C6-1、C6-2 ユネスコエコパークの活動の一環として、企業家や社会的企業向けにどのようなアプローチをしていますか（ユネスコエコパーク活動への協力に関する説明会など）。その内容について記載ください。

＜リマ行動計画C.6.1、C6.2＞

戦略的行動分野 C 7.**生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）が国内外で認知される**

C7-2 ユネスコエコパークブランドを付けた生産物とサービスの内容について、一覧で記載ください。
ブランド戦略（マーケティング）を独自で作成している場合、その戦略も提出ください。

＜リマ行動計画C7.2＞

戦略的行動分野 C 8.**生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）間の相乗効果の強化**

C8-1 他のユネスコエコパークと生産物とサービスの共同促進をしていますか。ある場合、その内容について記載ください。

＜リマ行動計画C.8.1＞

＜平成 29 年度調査＞

**戦略的行動分野 D : 包含的、現代的、オープンかつ透明なコミュニケーション、
情報及びデータの共有****戦略的行動分野 D 2 .****MAB計画のすべての面に関する認知度の向上**D2-2

- ① ユネスコエコパークとしての発信、コミュニケーションに関して、コミュニケーション計画と行動計画を策定していますか。作成している場合、概略を記載ください。
- ② ユネスコエコパークの専用ウェブサイトを開文と英文で作成していますか。そのURLを記載ください。
- ③ ユネスコエコパークの専用ウェブサイトの年間閲覧数を記載ください。

＜リマ行動計画D.2.2＞

戦略的行動分野 D 3 .**より広範の交流と働きかけ**

D3-1 ソーシャルメディアやその他の新しい情報通信技術を採用していますか。採用している場合、その概要（発信・交流内容、投稿数、ブログなど発信活動の平均数など）を記載ください。

＜リマ行動計画D.3.1＞

<平成 29 年度調査>

戦略的行動分野 E : MAB計画と生物圏保存地域世界ネットワーク (WNBR) 及びその内部における効果的なガバナンス

※ E4について、JBRNとして回答ください。

戦略的行動分野 E 4.

地域別・テーマ別ネットワークが効果的に機能すること

E4-1 JBRNにおいて、ネットワークの目的が明確になっており、それに対する業務遂行評価のメカニズムを策定していますか。その内容を記載ください。

<リマ行動計画E.4.1>